

IGF2021事前イベントについて

開催1カ月前が迫っており、IGF2021事前イベント開催に当たり確定が必要な3点について、方針を決めたい。

(1) 開催形態について

開催形態についてチームで検討した結果、「完全オンライン開催」が良いと考える。

	開催形態	登壇者	参加者	話者への負担(※)	設備的難易度	運営工数	コロナ感染リスク	エンゲージメント効果
1	完全オンライン	オンライン	オンライン	小	中	小	小	小～中
2	ハイブリッド	現地(&オンライン)	オンライン&現地	中	大	大	中	中
3	完全現地	現地	現地	大	小	中	大	大

※「登壇者への負担」とは、現地への移動時間や手間を指す

(2) 開催アナウンスの実施について

アナウンスは、開催の1カ月前より毎週出す想定。(媒体はJAIPA/JPNIC/IGF2021 MLを想定)
その他、必要に応じエンゲージメントチームの方針に沿って展開

- 09月28日(火) アナウンス① 日程のみ(内容は「調整中」とする)
- 10月05日(火) アナウンス② プログラム概要・話者情報追加
- 10月12日(火) アナウンス③ リマインド(適宜追加情報を連絡)
- 10月19日(火) アナウンス④ 開催1週間前のお知らせ
- 10月27日(水) &28日(木) イベント当日

(3) アナウンス文面の確定について

基本的に、各種決定事項は活発化チームでの確認を経て進めているが、アナウンス文面の確定については、1週間のラストコール対象とはせず、igf2021 MLでの事前の意見照会に留め、最終確定はイベント開催サブチームにお任せいただきたい

理由: 各種調整内容の盛り込みを考慮した場合、ラストコール期間を経ての文面確定は、時間がかかりすぎ、かつ非現実的と考える